

「第3期二宮町総合戦略（素案）」に対する意見募集の実施結果 （意見と町の考え方）

募集期間 令和5年1月4日（水）～ 令和5年2月3日（金）

意見数 : 8件

意見提出人数 : 2人（窓口0件、郵送0件、電子メール0件、電子申請2件）

意見の概要及び町の考え方 ※提出されたご意見は、趣旨を損なわない範囲で要約しています。

No	意見の概要	町の考え方
1	デジタルインクルージョンを(情報弱者)とされていますが、inclusionは「包含」を意味し、「教育、社会サービス、健康、社会およびコミュニティへの参加を含む、社会的および経済的生活への参加のための情報通信技術への公平なアクセスと使用を確保するために必要な活動が含まれます」(Wikipedia(英語))ということなので、(公平な情報アクセス・使用確保活動)という感じでしょうか。	当初、情報弱者を含めた情報化社会への障がいやデジタルデバイドと呼んでいましたが、本年度策定した二宮町デジタル化推進計画において、そのような方や障がいを「包含する」意味合いも込めてデジタルインクルージョンと呼んでいます。
2	学校統合せずとも、学校と両親のコワーキングスペースを併設して、なんなら親御さんが課外授業したらいいんじゃないでしょうか。統合よりも地域に根ざした暮らし、子育て、仕事、ができると思います。自分の両親や地域の大人がどんなことをしているのか、直接伝えることは大事だと思います。	児童・生徒の学習機会の確保と同様に、集団性や交流機会の確保、適正な教職員数の配置も考慮していくと、一定の児童・生徒数に減少した学校は学校統合することで、効果・効率が確保できるとされています。 ただ、第3期二宮町総合戦略期間5年間では学校統合は重点的に進めるものではないと考えるため、その記述はありません。
3	今の町役場、あの斜面を活かした良い建築だと思いますが、災害時対策本部としては海岸から離れた高台の日生損保のような条件の場所も良いのではないのでしょうか。神奈中やコミュニティバスが運行されれば、住民の行動半径も広がります。	現在の役場庁舎は、施設自体の老朽化のほか、高齢者や障がい者が来庁しにくかったり、役場施設が分散しているため手続き等において不便が生じていたりするなどの課題があります。 検討段階における町民の皆さんのご意見でも災害時の対応はもちろんのこと、通常時の福祉的な視点も含めた利便性の確保を強く求める声が多いことから、ラディアン周辺へ行政機能を集約するなど、施設の利便性を高めた再編を進めています。
4	アート活動、展示の魅力的な屋内スペースがあると良いと思います。ラディアンや二見記念館がありますが、カフェや自由工房を併設したようなこじんまりした空間があると、雨の日、寒い日、暑い日にも活動ができて良いと思います。	施策 2-1：二宮らしい魅力の創出と発信にある、生涯学習センター・ラディアンや図書館などのリニューアルは、町民の学びや発表の活動機会を確保することを目的としており、自由工房のような作業環境の整備まで盛り込むことは現段階で考えていません。 今後の生涯学習センター・ラディアンのリニューアルの参考とさせていただきます。

No	意見の概要	町の考え方
5	全体に見て、地域経済をどのように活性化させるか、町の産業をどのように育成するかという点が弱いように感じています。	<p>地域産業の振興は、基本目標4に特化して記載しており、施策4-1では商工業について、施策4-2では農林業について記述しています。</p> <p>商工業では商工会との連携による創業支援や事業継承のほか、二宮ブランド事業による地域ブランド力の向上に引き続き取り組みます。</p> <p>農林業では、オリーブなどの特産物の普及を奨励するとともに、遊休農地の集約化や新規就農者・法人の参入、遊休荒廃地の復元を支援していきます。</p>
No	意見の概要	町の考え方
6	<p>施策2-2：特色ある教育活動の推進が、基本目標2：新しい人の流れを生む魅力あるまちをつくるに含まれていますが、ここに入れることで、教育を人を呼びこむための手段のようにしてしまうことが心配です。教育活動は、まちづくりとは関係なく、それ自体を目的として進められるべきと考えます。むしろ、基本目標3を保護者主体の「出産・子育てを支え、子育てを楽しめる環境をつくる」という表現ではなく、子どもを主体にして「子どもたちの成長を支える環境をつくる」というような形にして、ここに入れることが必要ではないでしょうか。</p>	<p>二宮町の移住定住施策は、町の魅力である豊かな自然を肯定的に捉える幅広い年代をターゲットに据えています。特にワークライフバランス等の関係から若い世代の関心が高いようです。</p> <p>そのような中、特徴的な子育て施策や教育施策は、移住定住施策と切り離せない関係性にあると考えます。</p> <p>基本目標3に定める子育て施策も移住定住施策と密接な関係にあるものの、総合戦略上は国の総合戦略と体系を同じにするため、移住定住施策と分けた基本目標としています。</p>
No	意見の概要	町の考え方
7	「町の特色ある教育活動の一つである英語教育においては、引き続きALT（外国語指導助手）の活用や海外の生徒とのオンライン交流を促進し、自然と話したくなる生きた英語指導を行うとともに、英語検定料の助成を行うなど、魅力ある学校教育を推進していきます」の記述は、非常に具体的で、違和感を感じます。海外の生徒とのオンライン交流というのも、本来、リアルな交流が基本ではないでしょうか。	<p>町の特色ある教育活動の一つである英語教育を、近年整備したICT技術を使って従来では困難であった外国の児童生徒との交流といった取り組みにも挑戦しています。</p> <p>本計画書に具体例を載せることで、取り組みの継続のほか、そのような取り組みが行われているという周知の意味合いも持たせています。</p>
No	意見の概要	町の考え方
8	<p>施策1-3：豊かな環境の保全と気候変動対策の充実「脱炭素社会」や「循環型社会」、生物多様性の保全などを実現するため、の直接的・具体的な施策は、公共施設の新築、更新にあたっての再生可能エネルギーへの切り替えや省エネ施設の導入だけで、他については「町民・事業者・町の協働の促進と、子どもたちを巻き込んだ体験型の環境教育・保全活動」を進めるところに留まっている印象を持ちました。</p> <p>町民・事業者・町の協働の促進は、何を促進するのか盛り込むことが必要だと思います。</p>	<p>町は従来から町民や事業所などと連携し、エコフェスタや530キャンペーン、葛川の生き物観察会など、さまざまな啓発、体験活動などを実施しているため、「従来から取り組んできた町民・事業者・町による協働の促進だけでなく、」という文言に修正します。</p>